

ひろば

第188号
2013. 8. 1
横浜 シルバー
プラザ

シルバーナイトクラブ

七月十三日十九時よりシルバーナイトクラブを開店しました。職員はスーツドレスを着ていつもよりお洒落をしたご利用者方を、おちてなしていただきました。

ビールカクテルサンドウィッチデザートフルーツなどを食べながらこの日の為に用意いただいた音楽クラブの先生方によるフルートの四重奏を聴いたり楽しいお話で大盛り上がりでした。ダンスタイムではご利用者同士「行きましょ」とお誘いして踊る方々もいらっしゃいました。

今年は職員の出し物として、選ばれた六名によるダンスを披露させていただきました。温かい拍手をしてくださり、皆様楽しんでいただけたようで良かったです。

閉店後にはとてもよかったです。たまにはいいねとの言葉を頂きました。また来年もお待ちしております。ありがとうございました。

介護福祉士 森 駿子

※で、出席されたご利用者からの作品を紹介致します※

あお楽し ナイトクラブの ど真ん中
支えられ 支えて夜の 宴かな
軽やかに また華やかに W 主任
ネクタイが ドレスアップを ほめそやし
短か夜も 長く続けと サンバそう

通所リハビリテーションだより

先日ご利用者の奥様から「カブトムシを五匹頂きました。そのうち二匹はお嫁(婿)入りしてしまいました。三匹でいて飼育中です。家の周辺で採れたそうです。まだまだ青葉区には自然がいっぱいなんですね。」

さて、外に出ると焦げてしまっている七月、ティでは二日、三日にフルーツバイキングを行いました。夏のフルーツスイカ、メロン、マンゴのほかに珍しい南国フルーツを皆さんに味わっていただきました。写真のフルーツの名前は何か、食べた皆様はもちろん覚えてくださっていますよね？

「80歳を過ぎて初めて食べた」

「戦時中、南国に行っていた主人がマンゴースチンを食べた。おいしいからお前に食べさせてやりたい。」と言っていたのを思い出した。これがそうだったんだ。」

と思わぬ皆様の反応がうれしく感じました。ちなみに、その時の職員のフルーツカッティングショーも楽しんでいただけましたか？これや「と」ティ職員に写真を見せただけで、りんごをその通りにカットできる。シルバーの職員はなを優秀なんでしょう！

それからうどんを作ったり、パンを作ったり、畑で採れたフルーツとマンゴを作ったり、食べる物ばかりですがご利用者の皆様の自主的な行動によっていろいろなものが出来上がります。この調子でまだまだ暑い夏を皆様と乗り越えていきますよ。

通所リハビリ介護主任 松井 奈美



お見事

支援相談室からのご案内

今年は梅雨が例年よりも早く明け、真夏の暑さと戻り梅雨のじめじめした気候が混ざり合っています。熱中症や夏風邪など体調管理が難しいですが、ご家族の皆様も体調に気を付けてお過ごし下さい。

《差し入れについてのご案内》

ご面会の際の差し入れはご利用者それぞれの体調や病状に合わせて制限の無い方、物によって制限が必要な方、全面的にご遠慮いただく方など様々な対応をさせていただいております。また生ものは原則禁止とさせていただいております。

八月はお盆や帰省の時期ですので、久しぶりの再会や、初めてご面会に来られるお客様が増える事が考えられています。そのようなお客様には事前にご家族より前記の内容についてお話しいただきますようお願い致します。

ご利用者の差し入れの状況がご不明な場合は職員までお問い合わせください。ご利用者の皆様に安全にお過ごしいただけるよう、御協力をお願い致します。

八月の行事食

八月三日

納涼祭

屋台の出し物が夕食となり。食べて飲んでお楽しみ下さい！

八月二十日

風食

季節にちなんだお食事をご利用いたします。

来月の特別食のお知らせ

2013年9月の特別メニュー

♪季節の移ろいをテーブルから♪

予定日 9月7日(土)

- ★ サラダ一品
- ★ 秋刀魚のラタトゥイユソース
- ★ 季節の一品
- ★ フライスまたはリゾット
- ★ 新ごぼうポタージュスープ
- ★ デザート

ご予約は8月26日まで(職員まで)

今月の予定

3日(土)	納涼祭	24日(土)	理美容
4日(日)	朗読クラブ	25日(日)	朗読クラブ
6日(火)	詩吟・音楽クラブ	26日(月)	手芸クラブ
7日(水)	喫茶	27日(火)	売店
8日(木)	園芸クラブ	29日(木)	音楽クラブ
9日(金)	カラオケクラブ		
11日(日)	朗読クラブ		
16日(金)	散歩クラブ		
18日(日)	朗読クラブ		
20日(火)	詩吟クラブ		
21日(水)	ジュリアの会		
23日(金)	カラオケクラブ		

※都合により変更となる場合がありますので御承下さい。



コラム

「新書の花 アラカルト」

(前号からの続き)

今年はお当地のサクラの開花は去年より早く、シルバークラからのソメイヨシノは去年の4月3日に比べて今年3月17日。ヒガンザクラ、コヒガンザクラ、オシマザクラ、ヤマザクラも同様に早く、あざみ野図書館前のヨコハマヒザクラも2月28日開花で周辺のサクラも早く、三栗園の各種サクラも早く、見事であった。

こうして野外の自然に心を洗われた後に、2つの展示会を鑑賞出来たことは幸せだった。1つは、政治家としても有名なルーベンス展であり、もう1つはエル・グレコ展であった。

ルーベンスは何と贅沢な男であろうか。既に強力な独創性も兼ね、すべてのロマン主義画家たちのように、絵画を音楽に近づけるだけでは満足しないのだ。彼は絵画を活動と化したのである。ルーベンスを全ての画家の中で最も叙情的な画家と見ていた者もいた。ブラド美術館にある「三女神」は最もタリヤで明瞭な作品であり、最も堂々たる作品としている。

4月7日、東京上野の東京都美術館で、エル・グレコ展が開催されて、大盛況であった。昭和12年6月に京都や大和の古寺を見回り、のけろの日記を書いている。スペイン人というか、少なくとも所謂スペイン派の首領連である。両者がそれぞれの作品によって作り上げたものには、力強さ漂る凄まじい印象・美術の伝説・さらには合理性などの一切からの離反した世界、19世紀の精神と技法に革命をもたらした、まさに先駆者である。

今年もサクラの推移を見届けることが出来、更には2つの展示会を2日間、過去の画家たちの眼の記憶の体系の充満を、たっぴりと味わえたことが何よりの幸せであった。

(インタビュアー・編集 介護福祉士 腰塚 潤一)